

第55回BCP維持管理研究会 議事録

1. 日時: 2015年7月16日(木)16:00-18:20
2. 場所: 損保ジャパン日本興亜リスクマネジメント 会議室
3. 出席者(敬称略) 12名
副島、内山、小田、國貞、澤田、清水、菅谷、高桑、平川、森、山下、中谷(書記)

4. 内容

(1) 演習概要の説明

今後の研究会で、演習ファシリテータを予定しているメンバーの方から訓練方法やシナリオ等について、概要を説明して頂き、討議を行った。

・高桑さん

大地震を想定した初動対応訓練を「くじ引き方式」で行う。

事前にシナリオは作成せず、さまざまなインシデントをくじ引きにより取得した被災状況に応じて対応検討・判断する訓練とする。

・清水さん

大型台風による洪水(停電や浸水発生等)を想定し、タイムライン防災を中心とした訓練を行う。国交省や気象庁及び東京都が想定している被災をベースにタイムライン防災を検討・判断を中心とした訓練とする。

・高橋さん

火山噴火を想定し、事業継続組織のための検討・判断を中心とした訓練を行う。

なお今回、高橋さんは交通機関ストップにより参加出来なかったため、資料のみ配付した。

(2) 訓練・演習の進め方(ISO22398)について概要説明・・・中谷

演習プログラム、演習プロジェクトの説明が記載されているが、今回は演習プログラムの概要説明を行った。

- ・計画策定・・・必要性の明確化、支援基盤の構築、狙い目的の設定
- ・実施・・・プログラムの実施、パフォーマンス監視
- ・改善・・・プログラムレビュー、改善

(3) 南相馬市の復興状況視察について概要説明・・・國貞さん

本研究会として、過去2回訪問しており、今回はBCの先にある復興について視察することを目的とする。(現在7名予定)

南相馬市関係者及び地元企業との面談を予定している。

5. 次回開催

8月21~22日 南相馬市訪問

以上